

福岡キワニスクラブ 全国からの義援金 100万円を朝倉市に

社会奉仕団体「福岡キワニスクラブ」は7日、7月の九州北部豪雨の被災地支援として、全国のキワニスクラブから集まった義援金100万円を、朝倉市の森田俊介市長に贈呈した一写真。

同クラブの折田康徳会長らが市役所を訪れ、「被災した子供の支援に使ってください」と呼びかけた。森田氏は謝意を示すとともに、発生当時の状況や、10月27日に天皇、皇后両陛下が訪問された際のことを説明した。



市内では幼稚園や小学校も被災しており、子供の支援策についても意見を交わした。100万円とは別に、有志の会から集まった義援金18万円も贈った。

社会奉仕団体、福岡キワニスクラブ（事務局・福岡市、92人）の折田康徳会長（64）＝写真右＝ら会員4人が7日、九州豪雨の被災地、朝倉市を訪れ、森田俊介市長＝同左＝に義援金100万円を贈った。
全国の同クラブ35団体から集まった義援金を持参した。折田会長は「被災者の

キワニスクラブ 朝倉市に義援金 市長に100万円贈る



生活支援などに使ってください」と語った。
キワニスクラブは「世界の子どもたちに奉仕しよう」をスローガンにしており、今回の市への義援金とは別に、朝倉市内で被災した幼稚園などへの支援も考えていくという。